

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 2月 25日

事業所名 あしたばデイブリッジ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		適切である。	
	2	職員の配置数は適切である	○		適切な人数を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		入口から支援室まで、すべてバリアフリーである。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員全員で話し合い、計画・実行・評価し記録に残している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者会を年1回開催し、意見・要望を聞き、改善する努力をしている。保護者向けアンケートも年1回実施。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HP上で公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、外部委託はしていない。今後、検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月一度の全体ミーティング等で意見交換をする事により自身のスキルアップにつなげていく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもや保護者からニーズをくみ上げ、職員全員で話し合っって計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員で話し合っている	毎月活動予定表を作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や人数、利用者のその日の状態に合わせて活動内容を替えている。	個々の成長に応じた内容や子供達が楽しめているかを考えて工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休みや各行事に向けて、目標や課題を決めて支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		発達段階に合わせて、ルールや時間を決めて個別又は集団活動を行えるように事前に計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前にミーティングを行い、常に役割の確認をしながら支援している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々の様子を日誌に記入し、職員間でも話し合っている。	支援終了後、気付いた点等、口頭で伝えるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日誌に記録し、スタッフ間で意見交換し、検証・改善している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		毎日の日誌を個別に記録し、半年ごとのモニタリングを行う。保護者の意見・要望を聞き見直している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		児童の発達に合った支援を行っている。		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○	学校へのお迎えの時や担任の事業所訪問の際に情報交換している。必要に合わせて連絡を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在、医療的ケアの必要な児童はいないが、体制は整えてある。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	関係各所と情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	必要に応じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	機会があれば研修を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	公園での交流や公共施設内での交流がある。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○	機会があれば参加したい。	今後、参加できるように検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時にその日の児童の様子や活動内容を保護者に報告している。	年に一度の保護者面談を行う事でさらに日々の様子が伝えられる様にしていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	必要に応じて行っている。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	相談に応じ、助言している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	年1回保護者会を開いて、連携を図っている。	今年は新型コロナウイルスの為、保護者会はありませんでしたが、毎年1回は開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	スタッフ間で話し合い、迅速に対応するよう努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	連絡帳を活用したり、日々の送迎で保護者と意見交換している。	
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報は鍵のかかるキャビネットで保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	音楽発表会や運動会などの行事はどなたでも無料で観覧できるようにしている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	感染症対策は適切な換気や全員のマスクの着用から消毒、手洗い回数の頻度を増やすなどマニュアルに沿った対策を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	避難訓練を行っている。	年2回の避難訓練（火災、地震）を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎月の事業所間のミーティングで話し合っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	必要なケースがあれば本人または保護者と話し合い、同意を得たうえで書面を交わしてから行い、記録していく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者の判断で対応し、医師の指示書があればそれに従う。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	毎月のミーティングで話し合い、議事録を作りその内容を共有している。	各事業所だけではなく月に1度の全体ミーティングでも共有しあっている。